

**\* 会員生協の理事・組織活動担当職員を対象に、月1回学習会を開催しています**

- 栃木県生協連では、協同組合の歴史的認識や役割、原則について改めて学び、今日的な協同組合としての役割を認識するため、社会的な問題についても認識を深めることが大切であると考え、昨年9月から月に1度、会員生協の理事・組織担当職員に向けて定期的に学習会を開催しています。
- 参加者は講演の後グループに分かれ、テーマに沿ったワークショップを行っています。

定期学習会のテーマ、講師等			
回	開催月	講演会のテーマ	講師
第一回	9月	協同組合思想とその歴史	栃木県生協連 会長理事 竹内 明子 氏
第二回	10月	今なぜJA改革なのか	宇都宮大学農学部農業経済学科教授 秋山 満 氏
第三回	12月	ワークショップとファシリテーション ～ファシリテーションの基礎～	宇都宮大学教育学部 住環境・まちづくり研究室 教授 陣内 雄次 氏
第四回	12月	昨今の消費者問題と消費者市民社会の意義	横浜国立大学教育人間科学部教授 西村 隆男 氏
第五回	2015年 1月	(仮) 山谷の現状からみえてきた事 ～地域居住による生活困窮者の支援～	特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会 常務理事 滝脇 憲 氏
第六回	2月	(仮) 暮らしから考える生協の活動	生活協同組合アドバイザー 毛利 敬典 氏
第七回	3月	(仮) 栃木県に於ける地域の諸問題について	特定非営利活動法人まちづくり市民工房 宇都宮まちづくりセンター センター長 安藤 正知 氏
第八回	4月	(仮) いごちのよい場のありかたについて	社会福祉法人 至誠学舎立川理事 大村 洋永 氏 (至誠キートンホーム施設長 至誠ホーム・スオミ園長)
第九回	5月	計画中	
第十回	6月	私たちが考える生協の役割について	

**\* 東日本大震災・福島第一原発事故 被災者支援活動**

- 「被災者生活再建支援制度の拡充を求める(国会への)請願書」合計5,801筆(11/27集約)を提出しました。
- 2011年の震災後「①参加者同士をつなげる②参加者の想いや、お困りごとを受けとめ、つなげる③おしゃべりをしてほっと一息ついてもらう」ことなどを目的に開始した2つの「お茶会の場」を、どちらも月に一度継続して開催しています。「ふれあいお茶会」は2014年12月で39回目、「四倉仮設住宅でのお茶会」は33回目となりましたが、辛い想いを抱えながら暮らしている様子や、おしゃべりの中から聞こえてきます。また、4年近い歳月に被災者が高齢化していくということもあり、新たな課題となっています。

～ それぞれのお茶会の様子 ～

**宇都宮市に避難されている方たちのふれあいお茶会**

参加者のお1人が「みんなの笑顔が作れば良い」と、浪江やきそばを作ってくださいました。「うまい!田舎を思いだす。ほっとした。ありがとう」と言いながら、皆さん嬉しそうに召し上がっていました。故郷の食べ物の力を改めて実感しました。また、震災後家族と離れ、宇都宮のアパートで暮らされている方々が「昨日は一言もしゃべらなかつた。ここでしゃべらないでどこでしゃべるの」「故郷へは決して戻れない。残り少ない人生を、ずっと避難者として暮らすこともできない」やり切れない想いは、原発事故当時と少しも変わっていません。



**いわき市四倉仮設住宅でのお茶会**

スタッフは、毎回手作りの食事を用意します。今回は、おこわ、高菜飯、シチュー、ポテトサラダ、柿と大根の酢のもの、漬物、薩摩芋の甘煮などでした。参加者は互いのお皿に料理をとり分けるなど、まるで親戚のようです。ここで初めて出会った方たちも、4年近くをともに暮らすうちに、ここが、助け合い相談しあえる大切なコミュニティとなりました。除染が進み、部分的に帰宅可能な地域も出てきましたが「家に戻っても一人きり。最後まで仮設に残り、この人たちと一緒に居たい」とおっしゃいます。帰宅準備がすすむ一方で、今後の生活に対する不安が、より一層増えています。



# とちぎの生協

〒320-0024 栃木県宇都宮市栄町1-15 栃木県開発センタービル 2階  
TEL:028-624-6650 FAX:028-624-6652  
http://tochigikenren-coop.com Eメール info@tochigikenren-coop.com

VOL.15・冬号

**ごあいさつ 会長理事 竹内 明子**

あけましておめでとうございます。  
今年も希望のあふれる歳になることをお祈りするとともに、生協の活動と事業をとoshi、皆様の暮らしが豊かになれるよう、心をこめて推進してまいります。  
本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



— 栃木県生活協同組合連合会参加団体 —

会員生協 14 団体		賛助会員 5 団体
足尾銅山生活協同組合三養会	生活クラブ生活協同組合	企業組合とちぎ労働福祉事業団
宇都宮市職員生活協同組合	とちぎコープ生活協同組合	中央労働金庫栃木県本部
栃木県職員生活協同組合	よつ葉生活協同組合	社会福祉法人ふれあいコープ
栃木県農協連職員生活協同組合	足利工業大学生協同組合	生活協同組合パルシステム茨城
栃木県労働者消費生活協同組合	宇都宮大学消費生活協同組合	生活協同組合パルシステム群馬
ブリヂストン那須グループ生活協同組合	栃木県学校生活協同組合	
栃木保健医療生活協同組合	栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)	

平成26年度関東ブロック

おしらせ

**「地方消費者グループ・フォーラム」**

参加無料

もっとつながろう!地域から ～みんなの連携・協働のさらなる推進に向けて～

日時: 2015年2月19日(木) 10時30分～15時30分

会場: 栃木県総合文化センター 小ホール及び会議室

主催: 消費者庁/地方消費者グループ・フォーラム関東ブロック実行委員会

内容: 消費者庁挨拶・報告...消費者庁の取組と今後の課題、地域との連携・協働について

栃木県報告...栃木県の消費者行政について

～高齢者の消費者被害防止連携強化事業と消費者教育、啓発事業～

取組実践報告...宇都宮市、明治安田生命、埼玉県越谷市、千葉県、新潟県

ミニ講話・分散交流会

「地方消費者グループ・フォーラム」は、消費者庁の呼びかけによって、消費者問題に関係する様々な団体や個人が、学習や活動交流・討論を行い、地域での連携・協働をすすめることを目的として関東各都県で開催されてきました。5年目となる今年度は、消費者教育の展開や高齢者の見守り活動など、地域の問題解決に向けて、消費者団体・地方公共団体に限らず多様な主体とつながり、取り組みの先進事例報告や、課題等について論議します。

# ネットワークなどの主な取り組み

## とちぎ消費者ネットワーク

学識者、弁護士、司法書士会、消費者団体、NPO 団体、金融機関、生産者団体、栃木県生協連で構成するネットワーク

### \* 昨年度に引き続き、栃木県の委託を受け「とちぎ消費者カレッジ」を県内の大学や短大 5 会場で開催しました

【とちぎ消費者カレッジ】5会場 約500名参加  
社会経験が乏しく、契約や交渉に不慣れな若者は消費者被害に遭う事も多く、被害者のみならず加害者になってしまう可能性もあります。今年度、消費者教育推進法の施行を受け、若者が消費者トラブルや消費者問題の解決力を身につけることを目的に開催しました。



〈参加した学生のアンケートより〉

- 栃木県内の特殊詐欺被害額が8億円以上(10月時点)もある事に驚きました。他人事ではないと思いました。
- 参考になる話ばかりでした。被害者から加害者になるということがあるなんて、怖いと思いました。
- 未成年と成年では、責任が全く違うことがわかりました。
- クーリングオフとか、授業で名前を聞いたくらいだったので、今回詳しく知ることができて良かった。
- 実例を挙げてくださったので、非常にわかりやすかった。自分が実際に被害に遭った時には、消費生活センターを利用しようと思った。

開催日・会場・参加人数	テーマ	講師
9月29日(月) 宇都宮共和大学 2年生対象	若者の消費者問題を考えてみましょう～相談の現場から伝えたい事～	NPO とちぎ消費生活サポートネット 副理事長 白土美代子氏
10月20日(月) 作新学院女子短期大学部 1年生対象	二十歳の責任～消費者被害を受けない・与えない～	弁護士 服部 有 氏
11月12日(水) 宇都宮大学 全学年対象	ネットトラブルと契約について～トラブルを未然に防ぐために～	弁護士 山口益弘 氏 NPO とちぎ消費生活サポートネット理事 岡田 都茂子 氏
11月27日(木) 栃木県農業大学校 1年生対象	若者の消費者トラブル～現状と対応～	NPO とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎 氏
12月3日(水) 國學院大學栃木短期大学 1年生対象	消費者トラブルに遭わないために～現状と対応～	NPO とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎 氏

### \* その他の学習会

「消費者問題はなぜおこる」  
NPO とちぎ消費生活サポートネット  
理事 山田 英郎 氏

「消費者市民社会における栃木県内のパブリックコメント制度を検証する」  
栃木県在住消費生活アドバイザー  
連絡協議会 会長 高岡 得郎 氏

「適格消費者団体について」  
弁護士 服部 有 氏

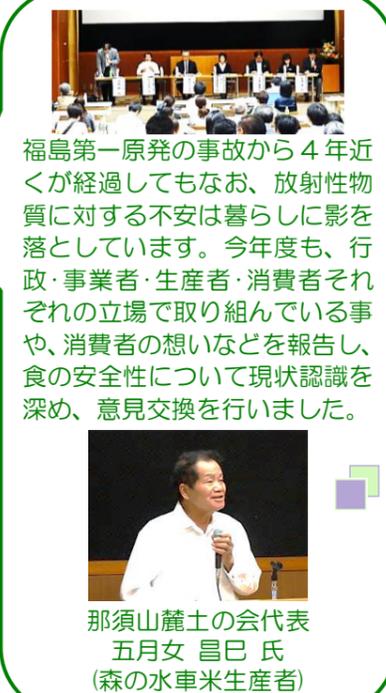
2015年1月27日(火) 予定  
「高齢者の消費者トラブルに対処するため『見守りと気づき』を」  
NPO とちぎ消費生活サポートネット  
理事長 葛谷 理子氏

## とちぎ食の安全ネットワーク

学識者、行政、消費者団体、事業者、勤労者団体、栃木県生協連で構成するネットワーク

### \* 栃木県や宇都宮市と共催し、食品安全フォーラムを開催しました

開催日	テーマ等	パネリスト
10月9日	第13回 とちぎ食品安全フォーラム 「放射性物質と食品の安全性について」 ～今、それぞれの立場で取り組んでいること～ ・コーディネーター 自治医科大学 公衆衛生学 教室教授 中村 好一 氏	・栃木県保健福祉部 生活衛生課 食品安全推進班長 清嶋 かすみ氏 ・那須山麓土の会代表 五月女 昌巳 氏 ・フタバ食品株式会社 品質管理部次長 本田 久治 氏 ・栃木県生活協同組合連合会理事 宇津木 祐子 氏
10月23日	食の安全地域フォーラム 食品工場の品質管理について ハウス食品株式会社関東工場見学 食の安全地域フォーラム	
11月14日	■「食品中の残留農薬と食品の安全性について」 内閣府食品安全委員会事務局 情報勧告広報課技術参与 高畑 菜穂子 氏 ■「栃木県食品衛生監視指導の状況について」 栃木県保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班主任 長 尚 氏	



福島第一原発の事故から4年近くが経過してもなお、放射性物質に対する不安は暮らしに影を落としています。今年度も、行政・事業者・生産者・消費者それぞれの立場で取り組んでいる事や、消費者の思いなどを報告し、食の安全性について現状認識を深め、意見交換を行いました。

那須山麓土の会代表  
五月女 昌巳 氏  
(森の水車米生産者)

### \* HACCPの基礎について学びました

●12月11日(木)「宇都宮大学名誉教授 宇田 靖氏」を講師にお迎えし「はじめてのHACCP講座」を開催しました。その後「栃木県保健福祉部 生活衛生課食の安全推進班副主幹 都丸美枝子氏」より「とちぎハサップについて」、「宇都宮市保健所 生活衛生課総括主査 長谷 充啓氏」より「うつのみやハサップについて」の報告がありました。原料の入荷から製造・出荷まで、どのように危害を防止するための重要管理点を特定し、食の安全を担保していくのか「言葉だけは知っていても、内容について専門家から聞くのは初めて」という参加者も多く、終了後のアンケートでは93%が「参考になった」と回答しました。

言葉だけは聞いたことがありましたが、詳しくは知りませんでした。事業者がきちんと衛生管理をしていることを消費者が認識する事が、事業者のレベルアップにつながり、食中毒等の低減につながるという事がわかりました。知るという事、理解するという事の大切さを感じました。

## くらし部会 会員3生協で構成し、暮らしに関する様々な活動を行います

### \* 10月7日食と農をつなげる会



●JA 女性会と生協連合わせて約180名が参加し、交流会を開催しました。

「農業、農協改革」をテーマに「日本農業新聞 関東支所長 山田氏」の講演と、農業者の立場で「ゆり生産者(有)エフエフヒライ代表取締役 平出氏」の報告がありました。その後14グループに分かれて農協改革について話しを深め、今後も消費者の生協、生産者としてのJA、お互いの立場を知り、連携を強めることが大切と気づく場となりました。

### \* 11月5日うつのみや食育フェア 2014に出展しました



●会員生協が食に関するクイズを出題し、来場者とともに「食育」について考えました。  
・とちぎコープ…朝食をしっかりと食べよう～朝食メニューの提案～  
・よつ葉生協…健康長寿の延伸～和食のススメ～  
・生活クラブ生協…健康な食デザイン～バランスの良い食事を考える～

### \* 12月6日、7日 ECOテック&ライフとちぎ 2014に出展しました



●生協の環境の取り組みのお知らせと「イクイ」を行い、「家庭の省エネサポート」を配布しました。

Q.地球温暖化が進むと21世紀末には日本でも海面水位が65cm上昇すると言われています。そうなると海岸の砂浜は何割消失されるでしょうか?  
(イクイより…答え 8割)

### \* 小山市、宇都宮市を訪問しました

●介護保険制度が改定されることから、新しい地域支援事業の計画の把握や、計画促進の要請と、生協の事業やサービスが社会資源として役立てることがないかなど、協働の働きかけとして、地域生協の理事を中心に訪問しました。

●訪問にあたり、事前学習会を行いました。

テーマ：「介護保険制度の改定に向けた市町村訪問活動について」～新しい地域支援事業～  
これまでの介護保険制度と何が違うのか?  
市町村訪問のポイントについて

講師：日本生活協同組合連合会 福祉事業推進部長 山際 淳 氏

#### ●小山市長訪問



10月16日(木)  
小山市長 大久保寿夫氏と懇談を行いました。その後、高齢生きがい課と協議しました。

#### ●宇都宮市長訪問



10月27日(月)  
宇都宮市長 佐藤栄一氏と懇談を行いました。